

中間評価集約

本校では、教育目標及び年度重点目標を設定し、より良い学校づくりを推進しています。年度重点目標の具現化に向けた日常の教育活動について、自ら点検をし、改善すべき点を明らかにするとともに、その改善策、更なる発展をめざしての向上策を作成し、教育実践をしています。

年度途中の評価及び改善策・向上策は次のとおりになっています。より具体的な対策については、校内担当分掌を中心に鋭意検討しております。広く皆さんからご意見をいただき、本校の教育活動の充実と発展を図っていきたく思います。ご意見等ございましたら、Eメールでお寄せください。

□ 教育目標

- (1) 自主性・協調性を培い、自ら学び自ら考える力を伸ばす。  
自主的・自律的に学校生活に取り組む校風、態度を形成する。  
生徒個々の学習意欲を高め、学習習慣を定着させる。  
基本的な生活習慣の確立を図り、倫理観や規範意識を高める。
- (2) 一人ひとりを大切にしたい、夢や希望を育み、個性を伸ばす。  
基礎・基本を確実に習得し、創造性を高め、個性を伸ばす。  
夢や希望、能力・適性、進路に応じた目標をもち、自己実現を図る。  
向上心をもって共に学び合い、思考力、判断力、表現力を伸ばす。
- (3) 心豊かで、たくましく生き抜く人間となる。  
幅広い学習体験や特別教育活動に取り組み、人間性と社会性を育む。  
人間尊重の精神、信頼と友情に基づく連帯感を育む。  
地域社会の要望に応え、社会に貢献できる人間となる。

□ 本年度重点目標

- (1) 学習・進路目標の確立と達成への取組
- (2) 自律心・公共心を育む

□ 主要実践項目

- (1) 基礎・基本の確実な定着と個性の伸長を図る。  
生徒一人ひとりの能力、適性、興味・関心に応じた習熟度別授業・少人数授業を実施するとともに、補習授業及び個別指導の充実を図る。  
シラバスを作成し、生徒一人ひとりが学習目標を持ち、自己の課題に意欲的に取り組むことができるように努める。  
創意を持って進路目標・年間計画を作成し、生徒の進路目標の確立に努める。  
体験的な学習、問題解決的な学習の充実を図る。  
授業・学習指導法の改善を図るために校内研修を行う。
- (2) 創意ある教育活動、活力ある学校づくりに努める。  
コース制（人文・社会、自然科学、福祉・コミュニケーション、情報・ビジネス）の充実と  
発展に努めるとともに、特色ある教育課程の編成を行う。  
② 「総合的な学習の時間」の充実を図るために、継続して研究・実践を行う。  
③ 自律心・公共心を育む生活指導、生徒の希望や願い、夢を受け止め、対応できる相談体制を確立する。  
④ 学校自己評価を実施し、教育活動の向上及び教育課程の改善に努める。  
⑤ 同僚性を確保し、教職員の教育的力量を高め、創意あり活力ある学校づくりに努める。  
⑥ 生徒・保護者・教職員懇談会の充実を図り、より良い学校づくりに努める。  
⑦ 生徒の自主活動に適切な助言と指導を行い、責任感・主権者意識を育てる。  
⑧ 生徒が生き生きと活動できる学習環境を整える。
- (3) 開かれた学校づくりと家庭・地域との連携協力を図る。  
① 学校評議員制を推進するとともに、梓川高校教育懇談会の開催と充実を図る。  
② 本校の教育活動に関する情報や資料の公開・提供に努める。  
③ 地域の人材及び施設等の活用をするとともに、「学校支援人材バンク」の充実を図る。  
④ 「地域モニター」との連携協力を図る。  
⑤ 地域住民を対象とした公開授業に積極的に取り組む。  
⑥ 学校支援組織「梓川高等学校を支える会」の充実を図る。  
⑦ 波田中学校をはじめとする町内5校間の交流を推進する。  
⑧ 校外清掃活動、町内の福祉施設等でのボランティア活動を推進する。

□ 中間評価

・ 評価項目の数字は、重点目標の項目番号になります。

領域	対象	評価項目	評価の観点	現段階の成果と課題	改善策・向上策
教育課程		1 コース制の充実	コースの目的・内容・カリキュラムを研究・検討し、コース制の改善をはかっているか。	コース制導入3年目となり、成果と課題が浮き彫りになりつつある。コース制は本校の柱の一つであり、さらに充実を図るためにも引き続き内要検討を深める必要がある。（特に人文・自然科学の特色化、福祉コースの定員増）	まず、主任会を中心として、全職員による本校の将来ビジョンの検討を行い、その結果と連動する形でコース制の検討を教育課程委員会を中心にして行う。また、現在の段階での課題についても検討する。
			各コース履修者の70%が満足をしている（した）か。	アンケート等の実施がなされていないために70%という具体的な数値に対する答えはつかみ切れていない。もし入学後自分の希望するコースに入れなかった生徒がいるとすれば、そのような生徒に対する対応が必要。	コースの履修に対するアンケートの実施の検討等、上の問に対する取組と連動した検討を進める（教育課程委員会にてアンケート実施計画については検討中）。

教育活動	学習指導	1	学習目標の確立	シラバスを作成し、生徒に学習目標・内容を公表・説明したか。	今年度、初めてシラバスを発行することができた。来年度は4月当初に発行できるよう準備を進め、さらに生徒への説明方法等についても検討する。	来年度、4月発行に向けてのシラバスの内容検討を進める（学習指導委員会による来年度版の提案済み）。
		1	授業改善	授業アンケートを実施し、授業改善に活用したか。	現在、各教科で実施したアンケートの集約、分析、考察を進めている段階。今後はそこから見つかった課題への具体的な取組の検討を進める。	各教科でアンケートの分析考察、課題に対する取組の検討を進める。また各教科からの結果を自己評価委員会で検討し、学校全体の問題として意識の共有を図る。
		1	個に応じた指導	生徒の要望等を把握し、補習授業及び個別指導の充実を図っているか。	夏期補習などは充実してきたが、それ以外については各先生方が個々に対応している部分が多い。普段の補習に関しては、時間的な制約が大きく不足気味である。	学校全体としての補習授業のあり方及び体制について検討を進める。
		1	「総合的な学習の時間」の充実	創意を持って学習目標・年間計画を作成し、指導体制を確立しているか。また、必要に応じて再検討しているか。	現在の「総合的な学習」については一定の成果があり、評価できる部分も多々ある。しかし現在の形も3年目を迎え、問題点も現れてきており、改善に向けたさらなる検討が必要。	この3年間の実践を総括し、系統的・体系的な学習ができるよう内容及び指導体制を再検討する。また、次年度計画案を早め立て、該当学年・教科等と検討する。
	生活指導	2	基本的な生活習慣の確立	基本的生活習慣の確立に向けた具体的な実践項目を作成し、実行しているか	係を中心に努力されてきたが、基本的な生活習慣が身に付いていない生徒が目立つようになってきた。解決は係、たんにんの力では困難な問題であり、全校の意識統一が必要。	基本的な生活習慣の確立に向け、いくつかの実践項目を設定し、学校として具体的に行動する。また、生徒会との連携を図る。
				生徒会と連携・協力を図っているか	上の問と同じ	上の問と同じ
	進路指導	1	進路目標の確立と自己実現	生徒一人一人の進路目標を把握できているか。	生徒それぞれの進路目標は把握できているが、それに基づいた進路指導については成果を挙げている。	さらに全職員の意識統一ができるような進路指導の充実を図る。
				創意を持って学習目標・年間計画を作成し、指導体制を確立しているか。また、必要に応じて再検討しているか。	体験報告会・説明会・企業見学などを通して、目的意識を持ち、進路実現する生徒が増えている。目標のない生徒への対応、基礎学力の充実、1年からの系統立った指導などが求められる。	学年との連携を密にし、1年次からの体験学習や見学等を含め、動機付けを図る。進学対策補習をはじめ、基礎学力の充実を図る。
				向上心のある生徒の期待に応える取組を行っているか。	ほぼ行っているが、さらなる充実を図る段階に来ている。	「個に応じた指導」に対しての改善・向上策と運動し考える。
	クラブ会	2	自主性を育てる指導	生徒の自主活動に適切な助言と指導を行い、責任感・主権者意識を育てられているか。	文化祭等での取組は評価されるが、日常的かつ全校的な浸透は時間的な制約もあり、不十分な面も見られる。	生徒会執行部の立ち上げの段階での係職員と生徒の意識統一を図るなどのさらなる充実と、係職員だけでなく全職員の共通認識を深める。
学校運営	組織運営	1・2	学校自己評価の実施	学校自己評価を実施し、教育活動の向上及び教育課程の改善を図っているか。	現在中間評価をうけて、各係・委員会・学年等で改善策等の検討が進められているが、中間評価の実施時期についてももう少し早める必要がある。	評価の総括と評価から見えてくる課題に対しての取組について検討を進める。
		1・2	生徒・保護者・教職員懇談会の充実	生徒・保護者・教職員懇談会の充実を図り、より良い学校づくりが推進されているか。	本年度はまだ実施されておらず、実施に向けて検討を進めている。	本年度中の実施について検討を進める。
		1・2	情報集約	地域等への情報提供のための、諸活動の資料を担当係に提供しているか。	校内HP等の設置により充実が図られている。	職員全体の意識統一を図ることと同時にPC以外の校内情報収集についても検討する。
	地域との連携	1・2	情報提供	本校の教育活動に関する情報や資料の公開・提供をしているか。	昨年に引き続き、多くの手段で情報公開を行っている。	各分掌・クラブ顧問等が、教育活動に関する情報及び原稿提供を教務係・情報処理係に行うなど、全職員の協力を図る。
		1・2	意見聴取と反映	地域の声を聴取し、教育活動に反映しているか。	教育懇談会を10月20日に実施し、現在その時に出された意見を集約し、検討を進めている。	教育懇談会の総括と課題への具体的な取組を検討する。
		1・2	教育力の活用	地域の教育力の活用を検討し、推進しているか。	波田町各施設をはじめ、本校の教育活動にご協力いただいている。「学校支援人材バンク」の活用について検討を要する。	学校人材バンク等の活用方法も含め、さらに地域の教育力が本校の教育活動に生かされる形を検討する。
	校内研修	1・2	授業・学習指導法の改善	研修会及び公開授業は、授業・学習指導法の改善を図るための研修となったか。	公開授業週間を設定したが、校内、校外ともに参加者が少なく、充実したものとはいえない。校内研修会については今年度はまだ実施できていない。	公開授業・研修会共に内容の充実を図るための検討を進める。
		1・2	生徒理解	生徒の希望や願い、夢を受け止め、対応できる生活指導・相談体制を確立するための研修となったか。	相談室主催の学校カウンセラーによる研修会は職員から高い評価を得た。	来年度に向けてさらなる充実を検討する。
	施設設備	1・2	学習環境の整備	生徒が生き生きと活動できる学習環境が整備されているか。	PTA・事務室を中心に新しい取組も行われ、学習環境の整備も進んできたが、まだ不十分な点もある。また、生徒の日常的な清掃活動の充実が望まれている。	日々の清掃の一層の強化と生徒会整美委員会との連携を図る。施設設備に関しては、予算等を考慮しながら、計画性をもって整備に努める。